

予算特別委員会で令和3年度予算 徹底審議!!

第110号

2021年4月25日発行
発行 上富良野町議会
表紙：上富良野西小学校入学式

第1回定例会

3月開催

町政を問う！議員9名の一般質問

斉藤町長就任後初の執行方針!!

スタート

コロナ対策費・除雪費等スピーディーに補正

介護保険料金改正へ

かみふらの
議会だより



令和3年度予算 72億400万円!!

YOUはどうして上富良野に？

コロナ対応にもう一声

「移住定住」にもう一声

執行方針概要

町内在住者が生涯にわたり住み続けられる環境づくりが重要で、現役世代の生活体験と就労体験を併せたマッチングの仕組みづくり、HPの内容充実、事業者等の人材確保に取り組む。

執行方針に対する質問

定住、移住のどちらに重きを置くのか。
また施策の具体案は？

質問に対する答え

両方大切であるから特に区別する考えはない。移住者に定住してもらうために、他市町村との比較の際、トータルで上富良野を選んでもらえるよう努めたい。町のPR方法も検討する。

直面する最優先の課題は何よりも新型コロナウイルス感染症対応であり、その対策に万全を尽くす。

ワクチン接種は国主導だが、今後接種をスムーズに進める上で、町独自の取り組みが必要と思うが？

検討段階ではあるが、個別接種、かかりつけ医接種など、接種方法の選択肢を増やす。また、郊外在住者の接種会場までの輸送については、ご不便をかけないよう取り組んでいく。



ホンネ

に迫る 8 のコト

「保健・医療」にもう一声

「町政運営」にもう一声

先頭に立って現場に向き、町民との対話を重ねながら信頼される役場を目指していく。

組織機構のあり方や制度の見直し、機能を細分化し、課を増設することなどが考えられるが、取り組みの具体策は？

組織機能のあり方や制度の具体的な見直しは考えていない。従来どおり適材適所で人員を配置していくが、先頭に立って町民の笑顔のために仕事をするという姿勢を私自身が示していく。

特定健診については受診率の低い40・50歳代の受診勧奨を進めるとともに、成人病に共通する危険因子該当者に対する効果的な保健指導を推進する。

町長自ら受診率の低い世代の代表としてアクションを起こしてみては？

働き盛りの世代は忙しく受診の時間が無いと思うが、健康維持のためにも是非受けてもらいたい。50代の私がPRに参加することもやぶさかではなく、今後も粘り強く勧奨していく。



「ラベンダーハイツ」にもう一声

耐用年数と、近年のボイラー更新に鑑み、あと十数年は耐用できると考えている。将来、隣接地に建設することで利便性を図ることができるが、具体的な規模、時期については未定である。

町立病院改築基本計画の配置イメージを見ると、将来的にラベンダーハイツは町立病院に併設されるような書き方がされている。施設改修など今後の計画は？



老朽化する施設の維持改善を図りながら、住み慣れた地域の中で安心して生活を継続するための高齢者福祉・在宅福祉の拠点施設として信頼される運営に取り組んでいく。

「泥流地帯」映画化事業にもう一声

映画化を進める会と、ロケサポート組織との連携により、町内でのロケ支援に取り組み、地域ブランドや商品開発など知名度の向上と映画「泥流地帯」の円滑な制作を図っていく。

令和3年度は「泥流地帯」映画化に関連する事業に多額の予算をつけているが、映画化事業はどのような位置付けにあるのか。また、どの程度熱意を持っているのか？



映画化事業も含め、ロケツーリズムという大きな枠組みで推進したい。CMやドラマ等の舞台になることで町の田園風景等が全国、世界に発信され、絶好のPRになると考えている。

就任後初の執行方針に「もう一声！」

定例会2日目の町政執行方針に対し、10名の議員が概括的な質問をしました。

斉藤町長の

「男女共同参画」にもう一声

そもそも町の審議会等でもバックグラウンドが関与しており一律に基準を設けるのは適当ではないと考えている。町の女性管理職は現在26.1%だが、将来的には30%を目指す。

男女共同参画については町長の公約でもあり、オリンピック・パラリンピックに関連し注目されている話題の1つである。役場管理職の女性登用についての考え方は。



様々な啓発活動から人権を尊重し互いを認め合う意識の醸成を図る。また、町の各種審議会などでの女性の積極的登用を働きかけ、女性が活躍できる環境づくりを進めていく。

「食」ブランドにもう一声

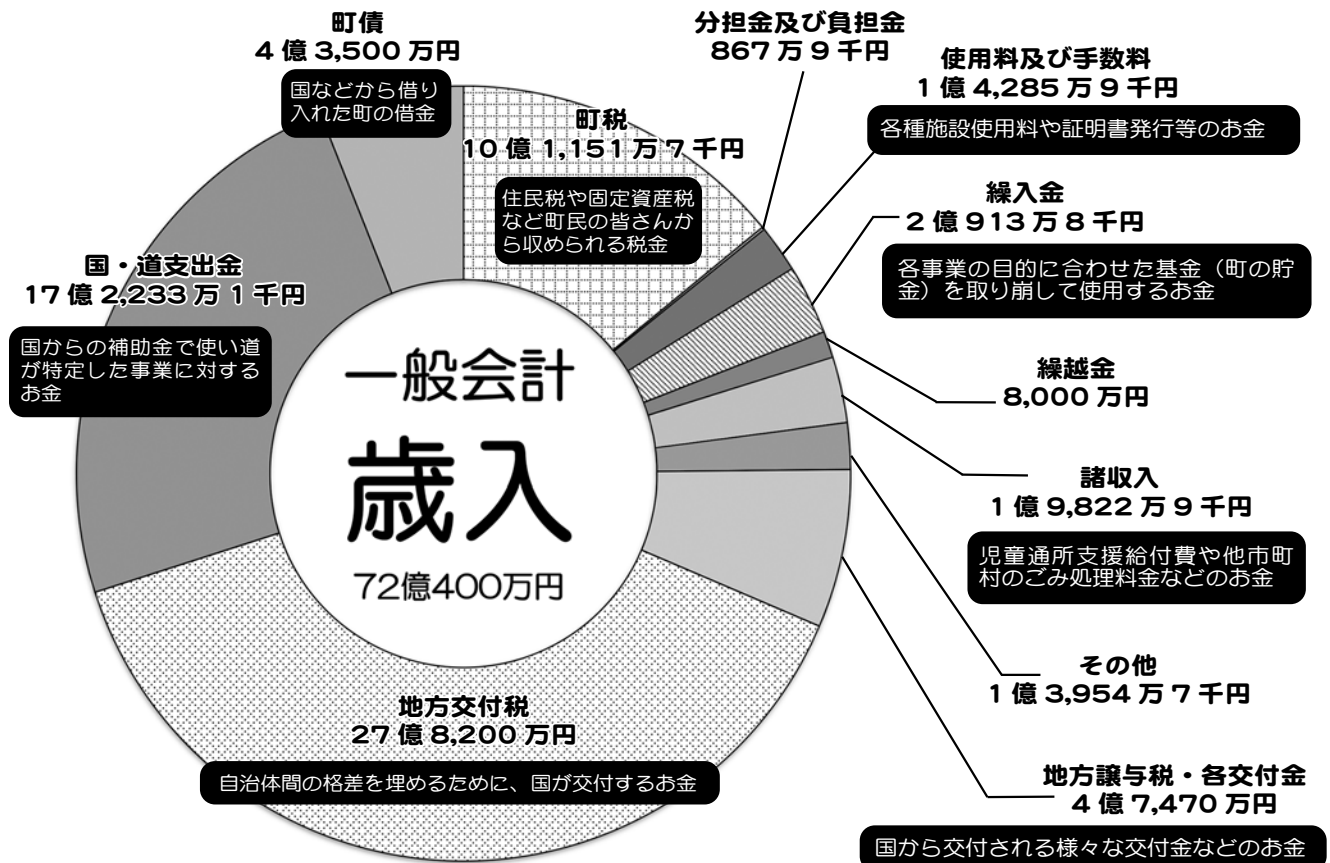
地域の「食」ブランドを発信するイベントの開催や農・商・工の産業間連携によるまちの魅力度アップに向けた推進体制の強化を図っていく。

町長の7つの政策、公約では「地場産品の販売促進」「道の駅整備」を掲げているが、この点につき本年度の取り組みは？



公約にも述べたが、将来的には地場産品をPRする観光・物販拠点として、インフォメーション機能を備えた道の駅が必要との考えは変わっていないが、具体的な時期は未定である。

72 億 400 万円可決

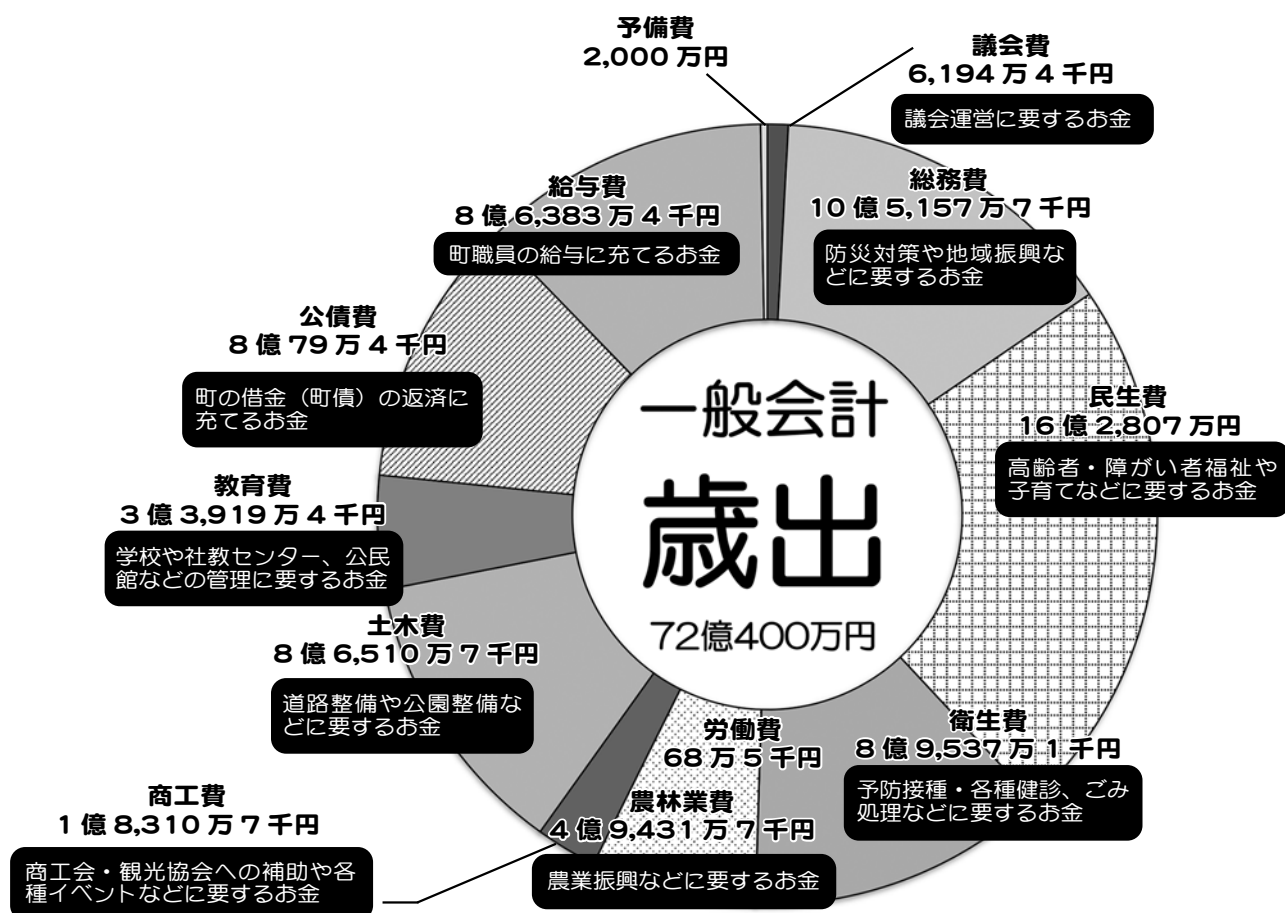


令和 3 年度各会計別予算額

会計名			令和 3 年度予算	前年対比
一 般 会 計			72 億 400 万円	5.5%
特 別 会 計	国民健康保険		12 億 3, 400 万円	3.3%
	後期高齢者医療		1 億 7, 152 万 5 千円	14.2%
	介護保険		10 億 7, 542 万 8 千円	7.6%
	ラベンダー・ハイツ事業		3 億 3, 342 万 7 千円	0.4%
	簡易水道事業		7, 689 万円	▲ 47.3%
	公共下水道事業		5 億 8, 438 万 7 千円	45.9%
企 業 会 計	水道事業	収益の支出	1 億 6, 775 万 3 千円	▲ 1.4%
		資本の支出	2 億 9, 608 万 1 千円	79.4%
	病院事業	収益の支出	9 億 7, 559 万 7 千円	1.6%
		資本の支出	6, 669 万 1 千円	66.2%
合 計			121 億 8, 577 万 9 千円	7.0%

町民に信頼される町政運営を目指し

令和3年度一般会計予算



新年度予算の概要

歳入については、一般会計は前年対比5.5%増であります。その要因として防災行政無線デジタル化整備や町営住宅整備などの実施に伴う国庫支出金や町債の増によるものです。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人町民税の営業所得者分、令和3年度の評価替えによる固定資産税及びたばこ税等の減収が見込まれていますが、各基金からの繰り入れを行い編成されています。

歳出については、経常経費の圧縮と一般財源の流動性を図ると共に事業評価制度に基づき、生活支援、健康推進増進策、地域経済の活力再生策を継続しつつ、町営住宅泉町南団地外構整備を始めとし、「泥流地帯」映画化の推進・町立病院基本設計・公共施設・公共インフラ長寿命化対策を基本に、各基金からの目的に沿った繰り入れを行い、本年度の予算となりました。

主要な新規事業

【総務費】

定住移住ホームページ

奨学金返還支援補助

地域活性化企業人負担

大正泥流被害CG制作費

防災行政無線整備（デジタル化）

ため池ハザードマップ作成

熱中症対策事業補助

保育体制強化事業補助

認定こども園施設整備事業補助

林業担い手育成支援事業

泉町南団地外構整備

ICT教育推進事業

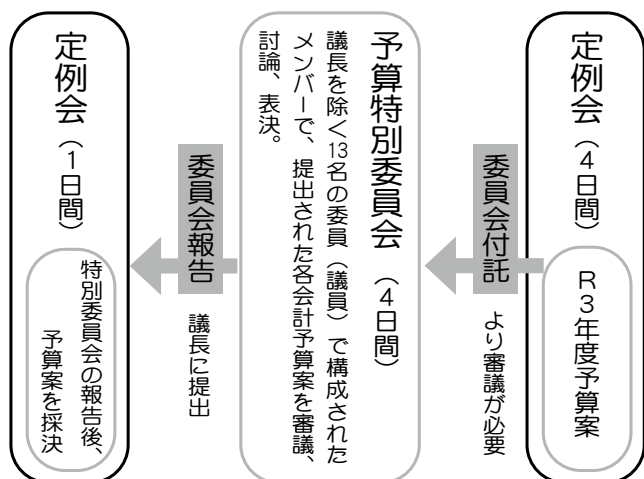
【民生費】

【農林業費】

【土木費】

【教育費】

を見据えた事業が本格始動!!



新年度予算は慎重な審議が必要のため、3月定例会で予算特別委員会を設置し審議するよう付託されました。

議長を除く13名の委員で構成され、岡本副議長を委員長に4日間開会し、予算に対する意見書を町長に提出しました。会計ごとに賛成・反対の討論や起立での表決を行い、すべての予算を賛成多数で可決しました。

この審議結果を17日の定例会で報告し、委員会の報告どおり可決しました。

4日間で多くの質疑が行われました。その中で注目事業をピックアップし紹介します。その他の質疑は8、9ページで一部掲載します。

継続

440万円

ロケサポート運営事業

ロケサポート
竹みふらの

ロケツアーリズム協議会活動費
ロケサポート運営費
誘客事業(グルメ)等

問 ロケサポート事業の誘客事業の具体的な事業内容は？

答 町民交流イベントとして映画泥流地帯のクランクインイベントや小説泥流地帯の朗読イベント、監督作品上映会などを企画している。その他、泥流関連食歩きグルメ事業も飲食店と連携して進めていきたい。

新規

1,322万円

「泥流地帯」映画化事業

三浦綾子
泥流地帯
映画化プロジェクト

大正泥流被害CG作成
旧東中学校ロケセット設置準備負担ほか

問 大正泥流被害CG制作の内容、活用は？

答 リアルティーのある映像をコンピュータで制作。CGは映画やロケツアーリズムのほか、歴史伝承、防災意識醸成、具体的にはジオパークや砂防教室等に活用する予定。

新規

263万円

**定住移住
ホームページ更新**

定住移住ホームページの内容と今後の管理については？

答 町の概要、PR、アクセス等のほか、町での暮らしが想像できるようなもの、移住者の声などを掲載したい。管理については職員が随時新しい情報に更新できるようにホームページも作成し整備する。

新規

578万円

地域活性化企業人負担

企業の籍のまま非常勤特別職員として任用し派遣費用を負担。企業ノウハウを生かし映画製作や地域活性化事業を行う

問 企業人の具体的な業務内容、派遣条件は？

答 業務内容は「泥流地帯」映画化の総合的なプロデュースや食に関する地域おこし、地域活性化等。1年の中で6ヶ月以上の派遣が必須要件。

「泥流地帯」映画化など未来

継続

5,634万円



町立病院改築整備事業

性的ため、従来とは異なる実施設計と施工を一括で発注するデザインビルド方式を採用。発注者支援業務というのは設計や施工の前段階で発注者（町）の意向を基本設計に反映させるために審査や助言を行うもの。

基本設計業務委託
発注者支援業務委託
問 発注者支援業務（CM方式）とは？
答 新病院建設はこれまでになかった事業規模と病院という特殊

新年度予算
使い道
ピックアップ
予算特別委員会で
徹底審議 !!

継続

1,440万円



日の出公園駐車場 拡張整備

答 敷地内に通路を作るのと、駐車場は砂利を敷いて整備する。工事は4月早々に発注しラベンダーの開花時期までには間に合わせたい。

問 日の出公園の駐車場整備内容、整備時期は？

新規

1億1,649万円



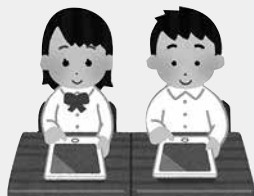
泉町南団地外構整備

答 国の交付金の関係上、駐車場数は規定があるが、菜園、公園については町が決める。冬場は緑地部分を雪捨て場として利用する。

問 外構整備において、駐車場、花壇、公園などの整備要件はあるのか？雪捨て場はあるのか？

新規

629万円



ICT教育推進事業

答 移動式のため地震発生時やぶつかった場合に大型TVが転倒する危険性があるため、フック等も設置し転倒防止策をとって対応していく。

問 移動式大型TVの設置について固定など安全対策は？

上富良野小学校、上富良野西小学校に移動式大型TV設置

新規

800万円



林業担い手育成支援事業

条件であり、林業事業者の担い手を増やしていきたいという目的である。機械購入は肉体的労働の軽減等のため林業事業者にはアリングを行い計画的に行う。

問 林業育成支援事業の条件、また、大型機械購入の目的は？
答 森林環境譲与税を使い、北の森カレッジのインターンシップの受け入れをすることが

質疑

『一般会計』

地域コミュニティ住宅

問 地域コミュニティ住宅の現在の利用状況と空き家の対応は。

答 地域コミュニティ住宅は清富に1件、東中に2件入居している。その他の地域コミュニティ住宅は空き家の状態で数年が経過し老朽化も進み住める状況ではない。新たに修繕していく方針はない。

ふるさと応援モニター

問 ふるさと応援モニター事業の広告の掲載される媒体とタイミングは。

答 全国紙の新聞2社と、北海道生活雑誌に掲載予定。また、ポータルサイトへの広告は集客力があるので、駆け込み需要のある時期に広告を掲載していきたい。

中山間地域等直接支払

問 農地災害減災対策の沈砂池設置事業費100万円
円の積算根拠は。

答 集落協議会がまだ行われていないので確定ではないが、沈砂池についてはその時々要望に応じて随時対応して災害防止に努めていきたい。

予約型乗合タクシー

問 住民ニーズの把握や利便性の向上に向けての令和3年度の取り組みは。

答 令和2年度はコロナの影響でニーズ調査等については行えなかったため、令和3年度は先送りとなったニーズ調査等、コロナが落ち着いた時期をみて見直しの検討を行っていきたい。

電子自治体共同システム

問 このシステムについては、申請用紙ダウンロードや電子申請がオンライン上で行えるもので、上富良野は昨年度と同じ9項目の利用にとどまっている状況だが、項目数の拡充は検討しているのか。

答 現在は、児童手当関係のみの項目となっているが、総務課、町民生活課、保健福祉課等で調整しながら検討し、準備が整い次第、項目を増やしていきたいと考えている。

省エネルギー対策

問 上富良野町としての省エネルギー対策の取り組み内容は。

答 町としては生活灯のLED化を図り二酸化炭素の減量に取り組んでいる他、太陽光発電等の補助や家電製品の買い替えの推奨等の広報活動、国の助成制度の紹介等を行っている。

観光諸行事

問 四季彩まつり等のイベント費用として昨年度と同額の740万円の予算となっているが、コロナ禍でのイベントの予定は。

答 イベントの運営委員会は、まだ開催されていないため、確定事項ではないが、夜のラベンター畑をライトアップし、幻想的な演出や花火等のイベントは行いたいと考えている。

町道維持管理

問 冬の除排雪費に関して、今年は3回にわたって補正しているが、夏の道路維持管理費と冬の除排雪費と区分することで計画的な除排雪の運用ができるのでは。

答 予算は夏の道路維持管理費部分と冬の除排雪費部分について明確に区分し、除排雪費に関しては一昨年度の実績ベースで積算している。夏場に夏の予算より大きくかかった場合は冬の予算で対応するが、冬になる前に補正し冬の除排雪費をしっかりと確保して対応していく。



町道の排雪作業風景

敬老祝い金

問 敬老祝い金は、今年度は報償費として計上されていないが。

答 敬老祝い金については、当初、スクラップアンドビルドの考えから、廃止することを想定していたため、予算計上していないが、白寿をお祝いする気持ちは従来と変わらない。条例改正が議決された場合は町長交際費で対応する。

※スクラップアンドビルドとは、ここでは事業の取捨選択の意味

『特別会計』

ラベンダー・ハイツ

問 経営安定対策化として令和3年度は一般会計から4千600万円繰入れているが、ラベンダー・ハイツの運営はどのように考えるか。

答 当面の間はある程度、一般会計から経営安定化資金を繰り入れし、公設公営でしっかりと今のサービスを維持、提供していきたい。



町長へ意見書提出

討論 一般会計

反対 (米沢議員)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、住民の可処分所得が減り、医療や介護、消費税などの税負担が増える現状の中で、今年度から第8期介護保険料の見直しがある状況にある。財政調整基金や一般会計からの繰り入れによって十分引き下げる財源が確保できると考えるが、町においては、一般会計からの繰り入れを行わない状況である。また、魅力づくりの関係では地域活性化企業人の制度を利用し、民間活力に期待する中で、職員の資質向上を同時に行い、高めるといった内容だが、資質向上につながるのかが疑問である。コロナ禍で日常生活が制約されている今こそ住民や事業者にも更なる継続的支援を求め、反対とする。

賛成 (中瀬議員)

新型コロナウイルス感染症の影響により、個人町民税や固定資産税、たばこ税など、町税全体として減収が見込まれる。その中で老朽化した公共施設へのインフラの長寿命化対策や令和7年度竣工を目指す、町立病院の改築整備予算、将来町を担う子どもたちへの子育て支援予算、町の基幹産業への予算について各種個別計画に基づき配慮がなされている。厳しい財政状況の中で、第6次総合計画の具現化と活力ある、魅力ある、持続可能な町づくりに向けた予算編成により、斎藤新町長の新たな町づくりのスタートの年になることを願い、賛成とする。

6項目の審査意見を付しました

●一般会計（5項目）

地域活性化企業人について

主たる事業はもとより横断的かつ、積極的な活用をもって町の魅力向上、職員の資質向上に努められたい。

「泥流地帯」映画化について

観光振興・誘客促進の観点から、CG制作やロケセットの条件整備を有効に活用されたい。

予約型乗合タクシー事業について

利用者ニーズを把握し、利便性の向上に努められたい。

観光振興について

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、新しいイベントの有り方など各関係機関と十分協議のうえ、観光振興に努められたい。

町道維持管理について

町道の維持・管理、除排雪に努めるとともに、特に冬期間の住民の安全性の確保に努められたい。

●病院事業会計（1項目）

町立病院整備について

病院改築整備基本設計及び発注者支援業務等について、発注者の意向が十分に反映されるよう努められたい。

■ 3月補正予算の状況 ■

補正予算

各会計の補正予算を可決

■補正予算第16号（専決処分）

新型コロナウイルスに関連緊急経済対策として、新型コロナウイルス感染症の流行で、業績の悪化している町内の事業所（店舗）に対し、売上額30%

令和3年第1回定例会は3月3日から17日までの15日間で開催され、各会計補正予算、条例、単独案件などを審議しました。会期中に予算特別委員会を設置し、令和3年度各会計予算を4日間で集中審議し、すべての予算を原案のとおり可決しました。
また、9名の議員が一般質問を行い、斉藤新町長の考えを問いました。

以上減少している事業者は、店舗面積、宿泊定員数、雇用従業員数に応じて、20万円、40万円を交付する中小企業経営継続奨励助成のほか、行政集約電波塔整備実施設計、除排雪等の補正、学校における感染症対策支援事業費の補正が行われ、原案のとおり可決しました。

■補正予算第17号（専決処分）

2月16日の降雨により路面に堆積した雪が溶け、除排雪する費用が増加したため、予備費から2千753万円の補正が行われ、原案のとおり可決しました。

■補正予算第18号

各認定こども園入所者確定見込みに伴う事業費補正、新型コロナウイルス感染症の影響により、吹上温泉保養センター（白銀荘）の宿泊・入浴ともに利用者が減少したため管理費1千100万円の増額補正、ふるさと応援モニター事業により寄附採納金を目的別基金に積立てる補正及び町議会広報誌印刷製本費ほか5件の追加及び南部地区土砂流出対策事業の変更の債務負担行為補正を、原案のとおり可決しました。

■補正予算第19号

新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、国から供給さ

れるワクチンについて住民への接種を進めるための事業費8千47万円の補正が行われ、原案のとおり可決しました。

ワクチン接種事業の内容

- 「接種対象者（9千310人）」
- 「接種優先順位」
- ① 65歳以上の高齢者
- ② 基礎疾患を有する人、高齢者施設従事者
- ③ 60～64歳
- ④ 16～59歳以下
- 「接種委託機関及び会場」
- ① 集団接種―町立病院
- ② 個別接種―渋江医院、小野沢整形外科（会場）各医療機関

条例

敬老祝い金支給条例を廃止

町はこれまで満99歳の高齢者に対して、敬老祝い金として5万円を支給していましたが、今後においては高齢者が安心して暮らせるための財源として活用するために条例の廃止が提案されました。この案に関して厚生文教常任委員会では「広く高齢者の福祉に対する財源にするという趣旨は理解できるが、いきなりなくすのはどうか」「段階的に廃止するべきではないか」という意見を理事者側に伝えました。その結果、上程された令和3年度においては、1万円の支給を行い令和4年度において廃止するという条例を原案のとおり可決しました。

上富良野町立病院の一般病床 の一部を介護医療院に変更

一般病床の一部を医療ニーズの高い介護医療院へ転換し、病床数を増やすことで、病床稼働率の向上を図るための条例の一部改正を原案のとおり可決しました。令和3年6月1日から施行されます。

一般病床 44床→39床
介護医療院 28床→32床

報 告

介護保険条例の一部を改正

国の介護保険法等の改正及び第8期介護保険事業計画策定に伴い、介護保険料率等の見直し及び低所得者の介護保険料の軽減強化を行い、介護保険事業運営の安定化を図る目的で条例の一部改正が提案されました。この件に関しては厚生文教常任委員会に付託され、十分な質疑、意見交換が行われ慎重に審議しました。その結果、委員会では介護保険料の基準額5千200円は他市町村と比較しても妥当であること、また低所得者への保険料の軽減策などを講じていることなどの賛成の理由が報告され、討論の後、原案のとおり可決しました。報告では料金改正に関して住民へ周知徹底するよう伝えられました。

介護保険料基準額	改正前	改正後	差額
月額	4,900 円	5,200 円	+ 300 円
年額	58,800 円	62,400 円	+ 3,600 円

町議会議員及び町長の選挙に おける選挙運動の公費負担に 関する条例の改正

令和2年第4回定例会において総務産建常任委員会に付託された本案件は、連合審査会を開催して関係職員に詳細な説明を求めた後、慎重に審議を行いました。審議の結果、候補者の費用負担が軽減され、町議会議員のなり手不足を解消する一助となることなどの賛成理由が報告され、原案のとおり可決しました。

契 約

光ファイバ未整備地区を解消する高度無線環境整備推進事業に伴う、北海道公設光ファイバ整備推進協議会高度無線環境整備工事請負契約について、随意契約により3億4千870万円で東日本電信電話株式会社と締結する議案を原案のとおり可決しました。



第1回臨時会（1月29日開催）

一般会計補正予算などを可決

歳入歳出それぞれ352万7千円を追加する一般会計補正予算（14号）及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業費補正の財源相替などで歳入歳出それぞれ270万円を減額する一般会計補正予算（15号）を原案のとおり可決しました。

- ① 新型コロナウイルスワクチン接種事業 346万2千円
- ② 高度無線環境整備推進事業費 270万円の減額
- ③ 観光誘客促進支援事業費 1千万円の減額
- ④ 町道維持管理業務委託（除雪費） 1千582万2千円

南部地区土砂流出対策工事（ベベルイ川）（R2国債）請負契約の締結について原案のとおり可決しました。

富良野広域連合議会

第1回定例会

令和3年第1回富良野広域連合議会定例会が2月19日に開催され、連合長から行政執行方針が述べられたほか、補正予算案及び新年度予算案、条例案が原案のとおり可決されました。また、相川議長辞職に伴う議長の選挙が行われました。

○議長 児玉 眞澄（占冠村）

令和3年度一般会計予算は、歳入歳出総額22億6千613万1千円となりました。（前年度比4千916万7千円減）

— 荒生 博一 議員 —

政
策

総合計画後期基本計画の策定はいつ頃か 令和5年度に予定している（町長）



荒生議員

令和6年度か

ら10年度までの「後期基本計画」が策定されていない。持続可能なまちづくりを進めるためには、計画的な行政運営が求められる。公共施設整備個別計画、町立病院の建設など計画策定には一定程度時間が必要になると思うが、「後期基本計画」の策定はいつ頃を目途に着手する考えか伺う。

齊藤町長

後期基本計画であるが、計画期間が令和6年度からとなるので令和5年度に策定を予定しており、そのためには令和4年度の後期には、これまでの各種事務事業の検証作業等を着手していかねばならないと考えている。

荒生議員

過疎指定に対する受け止めと、過疎指定による財政支援をどう計画に反映させるのか。

齊藤町長

過疎指定は、人口減少により地域社会における活力が低下し、

生産機会や生活環境の整備等が他に比して低位にある地域が指定されるものであり、決して喜ぶべきものではないと受け止めている。地方が有する可能性の実現に向け、持続可能な地域社会を形成していくためにも、第6次総合計画の施策を基本に、現在取りまとめている実施計画の事務事業の積み上げを基本として市町村計画をまとめ、各施策をしつかり前に進めたい。

様々な事業を取り組むにあたり、過疎債の発行が認められることになるが、あくまでも借金であるということをお忘れのことなく、地道に第6次総合計画の具現化に取り組んでいくことが極めて重要と考えている。過疎計画、そして総合計画と整合性をとりながら、優先順位を考慮し計画的に、そして財政的な見通しを得ながら進めていく。

子 育 て

町長の2つの具体策の着手はいつ頃か

すでに担当所管に

検討の指示をしている（町長）

荒生議員

町長は選挙公約の中で未来を創る7つの政策を掲げており、その中に「子育て支援の充実」がある。具体策としては「中学生までの医療費の無償化」と「子どもセンター機能の集約」とあるが、これらの具体策にいつ頃着手する考えか。

齊藤町長

すでに担当所管に検討を進めるよう指示している。

荒生議員

子どもセンター機能の集約について伺うが、新上富良野町立病院の基本構想では、現在子どもセンターを取壊し、病院建設が予定されている。子どもセンター機能は、発達支援機能を旧看護師宿舎へ移転し、子育て支援機能の移転先は現在決まってい

い。町長の公約では子どもセンター機能の集約とあるが、町政執行方針において本年度中に将来像を含め、施設の確保、整備のあり方をまとめ、取り進めるとあるが具体策は。

齊藤町長

子どもセンタ

ーの移転については、利用者の方々からも利便性が高く、このまま分散化しないでほしいとの声が私にも届いている。予算、経費なども考慮し、令和3年度中に検討、決定していきたいと思っている。



新病院建設により取り壊し予定の施設（子どもセンター）



町
営
住
宅

－北條 隆男 議員－

町営住宅の単身者の入居条件変更の考えは 検討課題と受け止め研究してまいりたい(町長)



東中町営住宅の空き室

北條議員 現在、町営住宅の公募方法は町営住宅管理条例の公募方法に基づいて町広報誌、防災行政無線等で行うものとなるため、準備や公募期間を設けると、年に6回程度しか募集が行われていない。現在の方法とは別に、町のホームページ等を使い常に最新の空き室情報の提供をし、随時募集、受付できるよう改善してはどうか。

齊藤町長 現在、町営住宅・防災行政無線などで募集を行っているが、議員より提案のあった随時募集については公募での申し込み、受付を行った住宅のうち入居が決まらなかった住宅については次の公募の開始日まではホームページや役場窓口での随時募集は十分可能なので対応したい。

北條議員 単身者の入居資格は、同居親族がなくても60歳以上と身体障がい者、生活保護者であれば入居できることとなっているが、空き室を有効的に活用できるように資格要件を変更する考えはあるか。

齊藤町長 平成23年に公布された地域主権改革一括法により公営住宅法が一部改正され、入居者資格とされてきた同居親族要件を廃止し、地域の実情に応じて各自治体において規定することとなった。町としては公営住宅が果たす役割として住宅困窮度が最も重要と受け止めており、同居親族の有無や人数など、その世帯の住宅困窮を推し量る上で基礎的かつ重要な要件に変わりにないことから、平成24年の定例会において、入居者資格の除外項目の1人暮らしの高齢者・身体障がい者・生活保護受給者については、町の規則で定めることとした上富良野町営住宅管理条例第6条の改正を行ったところである。入

居者資格要件の変更は近年、応募者が減少傾向で空室も見受けられ検討課題と受け止めているが、**齊藤町長** 除雪費に24万円かかっている。
北條議員 平均20軒近く空けておくのであれば低所得者の単身者でも入居できるようにしてはどうか。
齊藤町長 空き室の数が今後、増えていくようであれば考えたい。



扇町町営住宅の空き室



—元井 晴奈 議員—

病
院

町立病院の看護師確保については 勤務体制を整備し、確保に努めていく（町長）



町立病院ナースステーションの様子

元井議員 地域医療体制

維持のためには町立病院の看護師確保は非常に重要な課題であると考え、町立病院の看護師が数名離職しているが、現在、看護職員の施設配置基準を満たしているのか。

斉藤町長 看護師の人員

配置標準は一般病床3対1、介護医療院6対1と医療法、介護保険法で定められており、いずれも基準を満たしている。

元井議員 令和7年に病

院が改築されると一般病

床は44床から30床へ、介護医療院は28床から40床になる予定で、配置基準人数が変わると思うが、看護職員の適正な人数の配置については。

斉藤町長 新病院移行に

向けて遺漏のないよう計画的に人員確保に努めていく。

元井議員 現在、通常の

医療業務の他、発熱外来などコロナに関連した業務が増えていると思うが、

医師や看護師など病院職員に過度な負担はかかっているのか。

斉藤町長 通常業務に加

え、感染予防をした中で診察など、業務量の増と常に感染リスクを抱えた中での業務という精神的負担も増えているものと認識している。過度な負担が医療従事者にかからないような勤務体制の構築に努めている。

元井議員 今後は現状に

プラスしてコロナワクチン接種事業が委託予定だが、医療従事者の業務負担軽減の観点から臨時的にでも看護師などを雇うする考えはあるのか。

元井議員 新卒の看護師

のリクルートは積極的に行っているのか。

斉藤町長 従来から看護

学校へ出向き、就職説明

会に参加しており、看護

師奨学金貸付制度などの説明を行っている。

元井議員 新卒の看護師

の採用は長い目でみると非常に大切なことだが、教育などを考えると並行して即戦力になる潜在看護師のリクルートも必要であると考えらるが。

募集を行っている。

元井議員 看護師の確保

において看護師の働き方改革や環境整備が求められると考えらるが。

斉藤町長 看護師の働き

方については育児休業後や病気休暇後など各々の状況により勤務時間帯や夜間勤務などに極力配慮し、働きやすい勤務体制を整備して看護師も含めた医療従事者の安定的な確保に努めていきたい。



感染予防をし業務を行う町立病院の外来看護師



財政

— 今村 辰義 議員 —

予算への町長の思いの実現状況と財政運営は

4年度以降に反映させ限られた財源で町づくりを進める（町長）

今村議員 新年度予算の方針等について伺う。

斉藤町長 「活力あるまちづくり・魅力あるまちづくり・持続可能なまちづくり」の実現に向けた予算編成に努めた。

今村議員 町長の思いの予算への計上は。

斉藤町長 発達支援センター機能を、旧町立病院看護宿舎へ移転する計画も再検討させ見送った。思いは4年度以降に反映できるよう指示した。

今村議員 今後の公約実現と町の財政状況は。

斉藤町長 これからの検討事項である。既存事務事業、老朽化公共施設対応、災害対策・防災対策など優先順位を定めながら十分検討を重ねる。参事だが町立病院の改築事業は、整備規模を37億円と想定すると、実質公債費比率は10.8%程度に、将来負担比率は110・7%と見込んでいる。

今村議員 町立病院の改築に関しては、実質公債費比率が10.8%に上昇する

が早期健全化比率の25.0%、財政再建基準の35.0%にはまだ余裕があると判断してよいか。

斉藤町長 そのとおりである。それよりも財政状況については、経常収支比率が90%程度となっており、予算編成の自由度がかなり制限されるので、いわゆるスクラップアンドビルドが必要である。実質赤字比率・連結実質赤字比率は影響ない。

今村議員 財政運営のシミュレーションは。

斉藤町長 常に将来的な見通しについてシミュレーションを行い、限られた財源の中で町づくりを進めていくことが極めて重要と受け止めている。

今村議員 過疎債活用は。

石田副町長 ルール上は、企業債の2分の1まで発行できるが、認定されるかは別問題となる。

公園

日の出公園駐車場の整備は

ラベンダー開花時期までに整備を終える（町長）

今村議員 コロナ禍でイベントは縮小傾向ではあるが、夏場に向かいコロナ禍の状況変化も予想される。そういった中で令和3年度の日の出公園駐車場の整備は。

斉藤町長 4月には入札を行って施工業者を決め、ラベンダー開花時期までには整地して砂利を敷く。本年度中に整備を終える予定で進める。

今村議員 イベントなど別の使い方も含めた利活用について伺う。

斉藤町長 長年の課題だった駐車場が整備でき、イベント時などで来園者の利便性向上と近隣地域への迷惑解消に努める。トレイルランやヒルクライムなど現在の駐車場を発着地点としたイベントなどは、新たな駐車場の確保により一層の充実が期待されるほか、一定のスペースがあるのでイベントの内容によっては、必要な面積をその会場として使用することも可能と考えている。

今村議員 日の出公園の利用促進については。

斉藤町長 いずれにしても、日の出公園の利用促進に向けて、様々なアイデアに添えていけるよう柔軟に活用したい。



新たな駐車場を整備する日の出公園



－小林 啓太 議員－

(新規就農政策に関して)

町独自の研修プログラムが必要では ニーズを把握して調査研究していきたい(町長)

農
業



多くの市町村が新規就農者獲得にしのぎを削る北海道新規就農フェアの様子

小林議員 農地の取得に

関して離農地が出た場合は、地域内での利用調整、次に全町での募集、最後に新規就農者に募集がかかるという認識だが。

大谷農業振興課長 順序

はそうだが必ずしも最後ではなく、地域内での利用調整の中で名前が上がれば取得につながる。

小林議員 新規就農者に

将来の離農予定地の情報は共有されるか。

大谷農業振興課長 将来、

受け手のない農地等が出てきた場合において、そ

ういった情報を農業振興課からお伝えして、その土地に合った作物を栽培されている研修受け入れ農家を紹介したい。

小林議員 上富良野独自の

新規就農に関するサポート体制について、例えば複数の農家で研修を受けられれば、土地の問題を考えただけでも様々な地域で関係性を作れるなどの利点があると考えら

れるが、その様な仕組みづくりをするのはどうか。

斉藤町長 複数の農家で

研修を受けたいなどのニーズが多ければそういうニーズには検討するよう調査・検討する。

小林議員 私は、新規就

農希望者が町の窓口に来る時点では、そもそもどういう風にしたら一人前の農家になれるのかも分かっていないのがほとんどではないかと考える。市町村を選ぶ際に、しっかりと育ててもらえるような仕組みがあつてほしいというニーズも確実に存在すると考えるが。

斉藤町長 その意見を受

けて今後の研修制度にぜひ生かせるように研究していきたい。

小林議員 地域おこし協

力隊の枠組みを使った「農業支援員」制度が期間も3年と長く、助成金の返還義務などもなく、町独自のプログラムを作るうえでメリットが多い制

度だということを他市町村の担当者から伺ったが、検討してはどうか。

斉藤町長 現在、上富良

野では耕作放棄地がなく、そもそも新規就農者が農地を求めても空きがない現状がある。地域おこし協力隊制度を活用することで、結局農地が確保できず援農だけで終わってしまう危険性がある。

小林議員 現状広く使わ

れている農業次世代人材投資事業は2年間の研修期間の後、直ちに農地を求めなければ助成金の返還義務がある。仮に上富良野には耕作放棄地がないのであれば、現状のままの方が新規就農者のリスクも高く、町長の懸念も現実になってしまっているのではないか。

斉藤町長 既存の制度は

返還義務が生じ、リスクが高いというのはそのとおり。しかし、新たな制度については様子を見てから考えていきたい。

小林議員 仮に上富良野

に耕作放棄地がないのであれば、研修を受けた状態で、農地に空きが出ればいつでも営農できる潜在的な新規就農予定者を増やしていくことが重要なのではないか。

斉藤町長 潜在的に農業

を担ってくれる人が町に多くいてくれることは、全く異論はない。

小林議員 町に潜在的に

新規就農できる方を増やしていくこと、上富良野独自の魅力ある研修プログラム等があることが今後望ましい姿であるということを、この質疑応答で確認させてもらったという認識で良いか。

斉藤町長 この質疑応答

の中で共感する部分が多くなり多くあった。特に町独自の研修制度については調査研究して、作るだけではなく、積極的にPRして潜在的な後継者の数を増やしていく考えは認識を一致した。



農
業

—高松 克年 議員—

農業への人材確保の施策は

農業担い手育成等支援事業をあてる（町長）

高松議員 新規就農者への営農準備、開始時早期経営確立支援資金があるが継続していくのか。

齊藤町長 国の農業次世代人材投資資金で対応し、就農前2年間準備型と営農開始から最長5年間、資金支援を行うもので国の交付要件を満たし、意欲のある新規就農者に支援を行いたい。

高松議員 町長の公約には、自衛隊退職者への農作業技術の習得支援を行うところだが、農作業、酪農ヘルパー等にも再就職しようとする者にも同等の支援を行い、人材確保が重要施策と思うが。

齊藤町長 自衛隊退職者への支援については、農業後継者が新規就農者と同様に農業分野において担い手育成等支援事業により農業実務、研修、視察費用負担等支援する。

高松議員 後継者、インターン、Uターン農業者にリカレント（反復）教

育を行うことは、進歩する技術に対応するためには必要不可欠である。施設園芸の海外研修、実習等、先進技術の研修は必要となるが、どの様に考えるか。

齊藤町長 後継者に対する教育支援については、上富良野町集落協議会と協議し研修費の支援等を引き続き行っていく。

高松議員 農業支援サービス事業育成が必要では。新規就業者の育成、既存事業者の農業分野の参入等、農業従事者が必要な事態となっていると思うが。

齊藤町長 既存事業者についても農業経験者による技術継承は不可欠となる。どの様な支援サービスが農業者のニーズに沿い、有益なのか研究していきたい。

農 業

多様な作物から地域ブランドを

草の根的に広がる作物の

メニュー化へ（町長）

高松議員 スマート農業

といわれる最先端技術の導入は実証段階に入り、技術の向上もめざましい。各農業者が持つ、気象データ、土壌、施設におけるデータの集積利用が重要である。畜産経営においても同様にロボット搾乳、AI、IoTによる飼育管理の向上に利用されている。データの分析、活用知識が必要とされるが。

齊藤町長 人材不足、経験を補い、各々の業種で技術革新に期待している。データの活用について自治体で整備するより国、農業試験場等、研究機関が行うものと思っている。

高松議員 農作物が温暖化により、府県から北上し栽培が可能になってい

る作物がある。また、外国から特異な作物を特産物に地域ブランドを指すところもある。高収益作物に加え、有望な作物品種等栽培実験等へ支援の可能性について伺う。

齊藤町長 有望なものがあれば農業振興審議会等を通して考える。現段階では事業化は考えていない。

高松議員 多種多様な品

種からブランド作物を作ることは、道の駅の品揃えに繋がり地産地消にもなる。周到な計画の上に成り立つことだと思うが。
齊藤町長 農家個人の個人的な栽培から始まって草の根的に広がっていく。将来的には、高収益作物のメニュー化も可能ではないかと思う。



搾乳ロボット研修のパンフレット



－小田島 久尚 議員－

防
災

防災士のネットワークづくりは 非常に重要と思っている（町長）

小田島議員 上富良野町
地域防災計画の見直しの
進捗状況と防災会議の開
催がいつ頃になるのか伺
う。

齊藤町長 現在の防災計
画は平成26年に全面的に
改訂したところである。
この間において、北海道
胆振東部地震によるプ
ラックアウトや昨年から
継続している新型コロナウイルス
感染症への対応
など、現行計画のなかで
具体的な想定をしていな
い事象について、今年度
中において現行計画上に
反映すべく準備を進めて
いるところである。

また、地域防災計画の
改訂にあたっては、上富
良野町防災会議の開催が
必要であり、当会議につ
いては多くの関係機関の
参集が必要となるが、今
般のコロナ禍における会
議開催方法として、近く
オンライン形式で開催が
できるよう準備を進めて
いる段階である。

小田島議員 自主防災組
織及び防災士とのネット
ワークづくりについて町
長の考えを伺う。

齊藤町長 地域防災力維
持・向上のためには自主
防災組織や防災士の活性
化を図る上で、地域や組
織のネットワークづくり
というのが非常に重要で
あると私自身も同様に思
うところである。

しかしながら、昨年か
らこれまでにあっては、
コロナ禍のため、防災士
スキルアップ研修を昨年
7月に開催したのみと
なっている。
先日の十勝岳噴火総合
防災訓練においても、町
民の方が参加する避難訓
練は実施しなかったこと
からネットワークづくり
に関し、発信する機会を
得なかつたところである
が、今後においても引き
続き機会を伺いながら、
ネットワークづくりに向
けた働きかけを行ってい
きたい。

映 画

ロケセットの活用は考えているのか 保存・公開を考えている（町長）

小田島議員 町として町
民にエキストラやボラン
ティアなどの参加を呼び
かける体制づくりは考え
ているのか。

齊藤町長 映画「泥流地
帯」の撮影にとどまらず、
ドラマやCMなど各種の
撮影に協力する取り組み
として「ロケサポートか
みふらの」を今月から立
ち上げ、活動していくこ
とになっており、撮影・
制作会社との調整や町民
との交流・ボランティア
の募集などを進めていく。
また、泥流地帯の映画
化については「泥流地帯
映画化を進める会」が既
に発足しており、ロケサ
ポートとの連携を図りな
がら引き続き活動を行っ
ていただくことを期待し
ている。

小田島議員 ロケセット
の活用は考えているのか。

齊藤町長 現時点では制
作会社でも細部が定まっ
ていないが、昨年、監督
が現地の下見を行った際
には旧東中中学校校舎に
興味を持たれている。

これらのことから、ロ
ケセットの設置などが想
定される。撮影の終了し
たロケセットは必要に
応じ、移設・保存して公
開するなど活用を進めて
映画の聖地として観光推
進などに役立てたい。



泥流地帯映画化のパンフレット



財政

—佐藤 大輔 議員—

町財政給与費の一括計上に懸念を抱いているが 人件費を事業別予算まで細分化し 計上する考えはない（町長）

佐藤議員 給与費の包括計上に関しては事務上一定の合理性があることは理解できるものの、議会が目的別行政経費において職員人件費を除く費用をもって審議を行うこと、また行政サービスの立案、評価等の過程で、理事者や職員、町民や議会においても正しいコスト意識を持ちうるのかという点について懸念を抱いているが。

斉藤町長 わかりやすい予算書とするため、平成16年度予算からは各目単位において事業ごとに予算内容を記載する事業別予算とした。議会における予算審議において各種事業規模を把握できると考えている。

石田副町長 本町のよう小さな自治体ほど一人の職員が事業を兼務していたり、人事異動で人件費のポリウムに大小が生まれる。給与費については一括計上して、事業ごとに人件費以外の部分を御審議いただくほうが各議員の事業コストに対する理解が深まると考える。議会の議論が高まれば見直しも可能だが、かえって議論がしづらいのではと思う。

佐藤議員 予算書・決算書の仕様の変更までは要望しないが、事業別に人的コストが可視化された資料を議会に示すことは可能か。

石田副町長 人件費を各款毎に振り分けることは難しいことではない。議会から正式な求めがあれば可能だと思う。

佐藤議員 あらゆる世代の町民には、国や町を支える主権者として政治的リテラシー（政治的判断能力）を醸成する機会が必要であり、多様な主体の連携・協働がこれまでの以上に求められるが。

斉藤町長 議員と想いを同じくするものだが、与えられた権力を行使する中立的立場にあり、主権者意識醸成に関与することは抑制的であるべきで、政治家としての姿、行動こそが大切と考える。

佐藤議員 住民会長との町政懇談会など中立性を過剰に意識せず取り組むことができる施策もあるのでは。

斉藤町長 住民会長との懇談会は現に起きている事柄について意見を受け

政治

全ての町民に
政治的リテラシー醸成の機会を
関与は慎重であるべき（町長）

ることが主眼であり、意図的に政治的リテラシー向上に繋げる意識は持ち合わせていない。

佐藤議員 今後、総合教育会議等において主権者教育に町長の想いを反映される考えはあるか。

斉藤町長 子ども達にあるテーマについて議論させることは非常にナーバスな難しい問題を含んでいる。教育委員会を通じて自身の思想・信条を伝えることは考えていない。



北斗市の子ども議会のような

—米沢 義英 議員—

中学生までの医療費の無料化を

令和4年度から実施できればと

考えている（町長）



上富良野中学校

米沢議員

子供たちが病

気になった時でも費用の負担に心配することがなく、安心して治療に専念

することを目的に、多くの自治体で中学生までの医療費の無料化が実施さ

れている。町長の選挙公約でもあると考えるが、対応について伺う。

齊藤町長 中学生までの医療費の無料化は私の公約の一つでもある。担当課長から申し上げたとおり、1千200万円の財源が

齊藤町長

中学生までの医療費の無料化は私の公約の一つでもある。担当課長から申し上げたとおり、1千200万円の財源が

必要で、これを一度、中学生までの医療費の無料化をすると、単年度で終わることがないので、しっかりと財源の見通しを立てたい。私の気持ちとしては、令和4年からスタートできればと考えている。

財源の見通しをしっかりとつけて、内部協議も進めていかなければならぬが、協議を重ねて、令和4年から実施できるようにと思っている。

必要で、これを一度、中学生までの医療費の無料化をすると、単年度で終わることがないので、しっかりと財源の見通しを立てたい。私の気持ちとしては、令和4年からスタートできればと考えている。

財源の見通しをしっかりとつけて、内部協議も進めていかなければならぬが、協議を重ねて、令和4年から実施できるようにと思っている。

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

教 育

高校に進学する生徒に

費用負担の軽減策を

上富良野高校を中心に

支援をしたい（町長）

米沢議員

高校に進学する

と制服代、通学費などの費用負担がかさむ状況にある。町では、上富良野高校の維持存続のための入学する生徒たちに支援策が行われているが、校区外に進学する生徒への支援策を検討しては、

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

齊藤町長 高校に通うには、制服一つをとってもなかなか高額なものだと認識している。高校生への支援策だが、他市町村の状況等も調べているが、いろいろ支援策をしている。町は、上富良野高校存続のための支援策をしている中で、他の高校まで同じような支援策を広げると、結局相反することになってしまつて、募集しても上富良野高校に生

	補助基準額			人数
	入学準備金	就学支援金	通学費	
・中富	60,000	60,000		25
外	20,000		120,000	5
・中富		60,000		25
外			通学定期 実費相当	
内		60,000		1
外			通学定期 実費相当	

上富良野高等学校通学等補助基準額

生徒が集まらなくなつては、町の施策としては良くないと考える。

上富良野高校の存続と、他の高校への支援をどう両立していくか、大変苦慮している。

上富良野高校への支援は

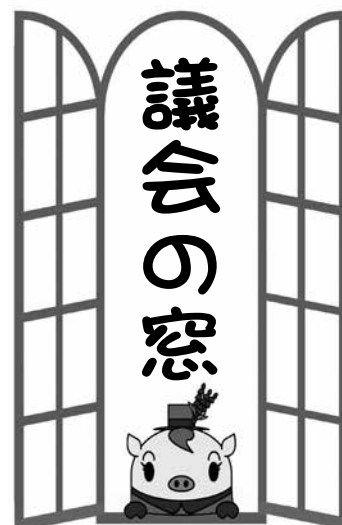
そのまゝ強力に、存続のために進めたい。

その他の質問項目

◎PCR検査体制について

◎子どもセンターについて

◎子育て世帯への国保税軽減策について



2月10日	総務産建常任委員会
18日	十勝岳噴火総合防災訓練
22日	厚生文教常任委員会
24日	総務産建常任委員会
25日	議会運営委員会
3月3日	議会広報特別委員会
4日	第1回定例会(1日目)
5日	第1回定例会(2日目)
9日	厚生文教常任委員会
10日	第1回定例会(3日目)
11日	議会運営委員会
12日	第1回定例会(4日目)
15日	全員協議会
16日	厚生文教常任委員会
17日	予算特別委員会(1日目)
22日	予算特別委員会(2日目)
30日	予算特別委員会(3日目)
4月9日	予算特別委員会(4日目)
14日	議会運営委員会
15日	第1回定例会(5日目)
16日	議会広報特別委員会
21日	議会運営委員会
22日	議会広報特別委員会
23日	議会運営委員会
24日	議会広報特別委員会
25日	議会運営委員会
26日	議会広報特別委員会
27日	議会運営委員会
28日	議会広報特別委員会
29日	議会運営委員会
30日	議会広報特別委員会
31日	議会運営委員会

◆町議会災害対策支援本部の設置訓練等を行いました。

令和3年2月18日、令和2年度十勝岳噴火総合防災訓練実施に伴って町災害対策本部が設置されたため、上富良野町議会としても災害対策支援本部を設置して、議員の招集伝達及び参集訓練を、また、情報共有訓練を議員14名が参加して行いました。

非常招集訓練に併せて議員自宅から役場までの経路を全町地図に記載する訓練を行うとともに、有事においては災害発生箇所等を記載して議会災害対策支援本部で集約した情報として、町災害対策本部に報告することを確認しました。

今後、さらに対応要領に基づく災害対応の的確に行うため、これまでの訓練で明らかになった課題を総括し、課題を改善する訓練を行って熟度を高め、いつ発生するか分からない災害に備えていく必要があります。



参集訓練の様子

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、また、必要に応じて臨時会を開催しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる機会です。議会では住民生活に関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政(町長や教育長)へ質問をする「一般質問」も行なわれます。

次の定例会開会予定は…

6月23日(水)・24日(木)です

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

※傍聴にあたっては、新型コロナウイルス感染症の予防にご配慮願います。

— お問い合わせ —

上富良野町議会事務局 ☎6992

YOUはどうして上富良野に？

～ターンUターン移住者に聞く～

なぜ上富良野に来ることになったのですか？

もともと北海道への移住には興味がありました。そこで色々と探している中で自然が豊富で移住者も多い東川町に興味を持ったのですが、いざ仕事を探してみると希望の職種がなく、悶々としていました。そんな中、先に移住した友人に「東川にも近いし、一度遊びに来て農作業でもしていっ

たら？」と声をかけられたのがきっかけです。**実際に来てみてどうでしたか？**

とにかく楽しかったです。初めてする農作業も、仕事の後の温泉やドライブや仲間との焼肉など、仕事をしているはずなのにその日常が充実しているのを強く感じました。滞在中にちょうど四季彩まつりもあり、音楽にのせて花火が上がるの

前職のアパレル会社を離職後、上富良野の農家で働く友人の元を訪れ、友人の働く農家で農作業も経験するうちに上富良野での農家ライフに興味を持った池澤さん。友人や農家の親方の勧めもあり移住してくることに。3年半の農作業員経験を経て、今年度から新規就農のための研修を開始します。



いけざわ たかし
池澤 高志さん 39 歳
栃木県佐野市出身。2017年に移住。昨年5月に元氣な男の子（志郎くん）も授かる。



農作業中の池澤さん

を見ているときは感極まるものがありましたね。**新規就農しようと決めた理由は？**

3年半の農作業員経験を経て、農業に対して興味が深まりました。その一方で新しく子供も生まれて、改めて家族を養っていくことを考えると、長い目で見たときに大変かもしれないけど、自分で農業経営をした方が安定した生活が送れるのではないかと思うようになりました。そこで様々な自治体にも出向いて新規就農の相談もしましたが、最終的には上富良野で就農する方向になりました。**なぜ最終的に上富良野を選んだのですか？**



文化連盟では司会も務める池澤さん

もちろん既に住んでいて土地勘や多くの人たちとの関わりがあるのもあります。制度的には魅力的な自治体もありました。ただ、実際に様々な自治体から作物を買って食べるときに、ひいき目なしに上富良野産の野菜が一番おいしいと感じたのが大きいです。**研修先はどの様に探しましたか？**

知人に里仁の四釜農園さんを紹介してもらい、お願いすると快く受け入れてもらえることになりました。軽トラ市などにも参加している農家さんなので、栽培から販売まで幅広く色んなことを学べるのが楽しみです。

編集後記

■東京五輪の代表内定をにかけて争われた競泳日本選手権で、白血病と闘ってきた池江璃花子選手の復活劇に感動と勇気をもらいました。延期や中止の声が多い中、東京オリンピック・パラリンピックの開催はできるのでしょうか。

■新型コロナウイルス感染症予防対策の生活スタイルが続いています。ワクチン接種も始まりますが、治療薬の早期開発が望まれます。

■泥流地帯の映画化が進んでいます。「ロケスポットかみふらの」が窓口となりエキストラやボランティア（交通誘導・炊き出しなど）の募集が始まりました。

■コロナ禍ではありますが、映画の撮影が始まれば、少しでも街に賑わいが戻ってくることを皆さんと共に願っています。

（小田島 記）

議会広報特別委員会

委員長		副委員長		委員	
高松	克年	小田島	久尚	元井	晴奈
米沢	義英	佐藤	大輔	小林	啓太